

学外実習の手引きの改訂について（報告）

改訂の内容と今後の課題

岡田 真智子、神谷 典子、石川 博章、高沢 佳司、谷村 和秀
愛知学泉短期大学

Revision of extracurricular training textbooks Contents of revision and future tasks

Machiko Okada, Noriko Kamiya, Hiroaki Ishikawa, Keiji Takasawa, Kazuhide Tanimura

キーワード： 教育実習（幼稚園） Educational practice (kindergarten)、保育実習 Childcare training、
学外実習の手引き Textbook for extracurricular practice

1. はじめに

教育実習及び保育実習は、幼稚園教諭第2種免許や保育士資格を取得する愛知学泉短期大学幼児教育学科の学生にとっては避けて通っていくことができない重要な履修科目である。教育実習、保育実習、施設実習を円滑に行うために、各事前事後指導の授業のテキストとして、「学外実習の手引き」を使用している。毎年改定作業は行っているものの、教育実習、保育実習、施設実習と3分野が1冊にまとめるために、初めて幼児教育を学ぶ学生にとっては、それぞれの実習や資格の区別ができず困惑している状況であった。また、児童福祉法及び教育基本法が改正になり、認定子ども園法(2006年)が施行され、学校教育法改正、子ども・子育て支援関連3法成立など幼児教育にかかわる法案が改正、改定等との整合性を考えるとともに、「子ども子育て新制度」における「幼保連携型認定子ども園」で実習する学生が保育実習や教育実習ともに増加している。施設実習では、2010年の児童福祉法改正や2005年の障害者自立支援法(現：障害者総合支援法)の制定により、障がい児(者)の福祉施設が障害の種別に関わらず、利用者を受け入れることになった。

これらの状況を踏まえた上で、今回の愛知学泉短期大学が実施するGPに関する助成を受けることで、「学外実習の手引き」を大幅に改定し、幼児教育学科の学生が事前実習指導の段階で学習に取り組

みやすい状況を作り、それぞれの実習がスムーズに実施できるように申請を行い、採択された。

今回は、学外実習の手引きを改訂した点を実習全体と各実習に分けるとともに、今後の課題を報告する。

2. 学外実習の手引きの改訂の検討

平成28年11月に、学外実習の担当者が集まり、学外実習の手引きを改訂するための検討を行った。その検討の中で挙がってきたは次のことである。

1つ目は、教育実習及び保育実習が1冊の手引きで行っていて、学生にとっては分かりづらいという点である。それを改善するために教育実習と保育実習(施設実習を含む)に分け2冊にした。

2つ目は、従来の実習の手引きは文章が中心になっており学生にとっては読みづらいという点である。その改善として、図表や挿絵を効果的に入れるようにした。(図1、2)

3つ目は、従来の実習の手引きを入稿するときは、原稿をプリントアウトして、そのままの原稿を印刷・製本を行っていた。学生が読みやすい手引きにするために、デザインと黒の2色刷りにした。それらについては、株式会社荒川印刷に依頼した。

3. 学外実習の手引きの改訂のスケジュール

学外実習の手引きの改訂の担当及びスケジュールは次の通りである。

(1) 教育実習の手引き

担当：清原みさ子、高沢佳司

日 程	作業内容
平成 28 年 11 月～ 平成 29 年 1 月	原稿作成
平成 29 年 1 月	原稿入稿・デザイン作業
平成 29 年 2 月	初校確認
平成 29 年 3 月	再校確認 印刷・製本 手引き完成

(表 1) 教育実習の手引きの作業スケジュール

(2) 保育実習の手引き

担当：岡田真智子、神谷典子、谷村和秀
石川博章、高沢佳司

日 程	作業内容
平成 28 年 11 月～ 平成 29 年 2 月	原稿作成
平成 29 年 2 月	原稿入稿 デザイン作業
平成 29 年 3 月	初校確認 再校確認 印刷・製本
平成 29 年 4 月	手引き完成

(表 2) 保育実習の手引きの作業スケジュール

4. 教育実習の手引きの改訂

(1) 教育実習について

愛知学泉短期大学幼児教育学科の教育実習は「教育実習Ⅰ（1 単位）」と「教育実習Ⅱ（3 単位）」と分けられる。

「教育実習Ⅰ」は 1 年前期（6 月下旬～7 月上旬）に、1 学年を 2 つのグループに分けて 5 日間行われる。愛知学泉短期大学附属幼稚園・愛知学泉大学附属幼稚園・愛知学泉大学附属桜井幼稚園のうちの 1 ヶ所に配属され、実習を行う。その実習のために「教

育実習事前事後指導」の事前指導を 8 週、事後指導を 2 週の計 10 週行っている。

「教育実習Ⅱ」は 2 年後期（9 月中旬～10 月上旬）に 15 日間行われ、学生が通うことができる幼稚園や認定こども園に配属され、実習を行う。その実習のために、「教育実習事前事後指導」の事前指導を 4 週、事後指導を 1 週の計 5 週行っている。

(2) 手引きの構成

教育実習の手引きを下記のように構成した。

- ・ 教育実習とは
- ・ 教育実習の実際
- ・ 幼稚園の一日教師の仕事
- ・ 本学における教育実習
- ・ 実習関係書類一覧
- ・ 必読文献、参考文献

(表 3) 教育実習の手引きの構成

(3) 手引きの改訂内容

従来の学外実習の手引きから、次の内容を改訂した。

1 つ目は、従来の学外実習の手引きでは、幼稚園の 1 日という項目の中で、幼稚園の 1 日に合わせた教師の仕事を説明している。今回の改訂では、学生が実習先で自ら学べるようにするために、幼稚園の一日と教師の仕事に合わせて、学生（実習生）がどのように活動すべきかを追加した。（図 3）

2 つ目は、従来の学外実習の手引きでは、それぞれの教育実習のねらいを説明しているが、実習内容は、教育実習として一括で説明していた。今回の改訂では、教育実習ごとに項目を分け、それぞれの実習内容などを具体的に述べた。具体的というのは、「教育実習Ⅰ」では、実習期間や実習先の説明は勿論であるが、実習に必要な書類・記録の作成方法や事前訪問指導、実習中の諸注意などを述べた。「教育実習Ⅱ」では、実習先の配属の方法、事前訪問指導の電話での依頼の仕方、責任実習の留意点を述べた。

5. 保育実習の手引きの改訂

保育実習は保育所や認定こども園で行う「保育実習Ⅰ」・「保育実習Ⅱ」と保育所以外の児童福祉施設や障がい者福祉施設で行う「施設実習Ⅰ」・「施設実習Ⅱ」がある。保育実習の手引きでは、以上の実習

をまとめて改訂をしたが、ここでは「保育実習Ⅰ」や「保育実習Ⅱ」の保育実習と「施設実習Ⅰ」・「施設実習Ⅱ」の施設実習を分けて述べる。

（1）保育実習

従来の手引きと整合性を取り、下記のように構成した。

I. 保育実習とは
保育実習・保育実習指導の位置づけ
II. 保育所実習
（1）保育所とは
（2）認定こども園とは
（3）保育実習Ⅰについて
（4）保育実習Ⅱについて
（5）保育実習の実際
III. 施設実習
（1）施設実習とは
（2）施設・種別と概要
（3）施設実習Ⅰ
（4）施設実習Ⅱ
（5）施設実習の実際
IV. 保育実習の準備と心構え
1. 実習事前指導
（1）実習事前指導の目的
（2）実習事前指導の内容
（3）実習先の決め方
（4）実習に必要な書類・事務手続き
2. 事前オリエンテーション（事前訪問）
（1）事前オリエンテーションの目的
（2）事前オリエンテーションのプロセス
（3）電話での依頼の仕方
（4）事前オリエンテーションに必要な書類・持ち物
（5）服装、髪型、身だしなみ、あいさつ、言葉遣い
3. 実習の心得
（1）実習態度
（2）子ども・保護者・障がいのある人への態度
（3）服装・持ち物
（4）個人情報の保護と守秘義務の遵守
（5）実習時及び実習事後の注意
参考文献

（表4）保育実習の手引きの構成

（2）保育実習（「保育実習Ⅰ」・「保育実習Ⅱ」）

1) 保育実習とは

保育実習は「保育実習Ⅰ（1単位）」と「保育実習Ⅱ（1単位）」と分けられる。

「保育実習Ⅰ」は1年後期（1月中旬～下旬）に12日間（90時間）行われ、学生が通うことができる保育所や認定こども園に配属され、実習を行う。その実習のために「保育実習指導Ⅰ」を15週行っている。

「保育実習Ⅱ」は2年前期（6月下旬～7月上旬）に12日間（90時間）行われ、学生が通うことができる保育所や認定こども園にも配属され、実習を行う。その実習のために「保育実習指導Ⅱ」を15週行っている。

「保育実習Ⅱ」は2年前期（6月下旬～7月上旬）に12日間（90時間）行われ、学生が通うことができる保育所や認定こども園にも配属され、実習を行う。その実習のために「保育実習指導Ⅱ」を15週行っている。

2) 手引きの改訂内容

従来の学外実習の手引きから、主に次の内容を改定した。

1つ目は、平成26年から保育所と幼稚園機能を併せ持った幼保連携型認定こども園ができ、保育実習先が広がった。保育実習の選定先として考えるにあたって、認定こども園への理解を深めることができ

認定こども園の4つのタイプ			
幼保連携型	幼稚園型	保育所型	複合型
認可保育所と認可幼稚園が併設し、0歳児から5歳児までの保育・教育を行う。	認可幼稚園が保育に力を入れる子ども向けの保育施設を併設するなど、保育所的な機能を備える。	認可保育所が、保育に力を入れる子ども向けの保育施設を併設するなど、幼稚園的な機能を備える。	認可保育所や認可幼稚園の認定も、幼稚園の教育・保育施設。

（表5）認定こども園の4つのタイプ

よう認定こども園の4つのタイプを図表で示した。

2つ目は、従来の手引きでは保育実習として保育実習Ⅰと保育実習Ⅱを一括して説明をしていた。今回の改訂では、保育実習ごとに項目を分け、実習の意義と目的・概要・具体的な実習段階・ポイント・評価について具体的に述べた。

3つ目は、保育実習の実際として保育所の日・実習の段階・年齢による保育の実際を項目ごとにまとめ、具体的に述べている。また、従来の手引きでは、乳児保育・3歳未満児保育については述べていたが、幼児保育については幼稚園実習の実習要領を使用していた。今回の改訂において幼稚園実習は別手引きとなったため、乳児保育・3歳未満児保育と幼児保育に分けて記載されている。

(3) 施設実習（「施設実習Ⅰ」・「施設実習Ⅱ」）

1) 施設実習について

厚生労働省の「指定保育士養成施設指定基準」（雇児発 0331 第 29 号平成 27 年 3 月 31 日）により、保育士資格を取得するための施設実習は「保育実習Ⅰ（本学での開講科目：保育実習Ⅰと施設実習Ⅰ）（必修）」と「保育実習Ⅲ（本学の開講科目：施設実習Ⅱ）（保育実習Ⅱ（本学の開講科目：保育実習Ⅱ）との選択）」がある。実習期間は、おおむね 10 日と示されている。また、実習指導についてはそれぞれの実習に合わせて行うことになっている。

本学の施設実習は、「施設実習Ⅰ」のみ実施しており、1 年次後期（2 月、3 月）もしくは 2 年次前期（8 月）に実施している。（「施設実習Ⅱ」はカリキュラムの上では設置しているが、「保育実習Ⅱ」を全員に履修・実施しているため、未実施である。）本学の施設実習Ⅰの実施日数については、実習期間は平成 24 年度に入学した学生までは宿泊 6 日で行っていた。平成 25 年度から平成 28 年度に入学した学生は宿泊 8 日、通い 10 日で行っていた。平成 29 年度に入学した学生からは、宿泊又は通い 10 日で実習を行っている。

施設実習Ⅰにおける実習指導は、平成 26 年度に入学生までは「保育実習指導Ⅰ」の時間で保育実習Ⅰと一緒に行われていた。施設実習Ⅰの事前及び事後指導の内容を充実させるために、平成 27 年度に入学した学生から「施設実習指導Ⅰ」という科目名で新たに開講し、実習指導を行っている。「施設実習指導Ⅱ」は平成 26 年度以前から設置されている。

2) 手引きの改訂内容

従来の学外実習の手引きから、次の内容を改訂した。

1 つ目は、学生の実習評価に、「実習前に施設のことを調べて、実習に臨んでください」というコメントが見受けられた。施設実習指導Ⅰの講義内容で、児童福祉施設及び障がい者福祉施設を文献やインターネットで調べたり、確認を行ったりしている。しかし、学生の身になっていないことが考えられる。だから、学生が実習施設のすぐに確認ができるために、施設別に種類と概要を示した。（図 4）

2 つ目は、従来の実習の手引きでは「施設実習Ⅰ」のねらい・実習内容は示しているが、「施設実習Ⅱ」は示していなかった。現在、「施設実習Ⅱ」を実施していないが、科目を設置しているということや実施

することになったときのために、「施設実習Ⅱ」のねらい・内容を記載した。

6. 今後の検討課題

今回の改訂については、平成 29 年度に入学する学生の使用に合わせて行なった。現在、平成 29 年度に入学した学生は、改訂した実習の手引きを購入し、実習指導で使用されている。

今後、2 冊の学外実習（教育実習・保育実習）の手引きが、学生にとって、効果的な教育教材になっているかという検討をしなければならない。また、教員にとって、使用しやすい教育教材かという検討もしなければならない。

そのために、学生に意見も聞き、学外実習の担当教員で検討する必要があると考える。

7. おわりに

幼児教育学科の学生は、幼稚園教諭 2 種免許と保育士資格を取得するために、入学している。そのために、教育実習及び保育実習は避けて通れない実習科目である。教員側としては、学外実習を通して、学生が幼児教育の魅力を理解し、卒業後に保育者として活躍してほしい学生が学外実習を積極的に取り組み、知識や技能の習得するために、改訂した実習の手引きを学生及び教員が積極的に活用して、学生にとって深みのある実習になることを期待する。

謝辞

平成 28 年度愛知学泉短期大学学内版 G P の助成金を受けた。今回、学外実習の手引きを改訂するにあたって、デザイン作成及び印刷・製本を株式会社荒川印刷にお世話になりました。この場で、御礼を申し上げます。

参考文献

- 愛知学泉短期大学幼児教育学科編『学外実習の手引き—幼稚園・保育所・福祉施設実習〔平成 28 年度 改訂版〕』、2016 年
- 文部科学省『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、2008 年
- 東京家政大学『教育・保育実習のデザイン』研究会

編『教育・保育実習のデザイン—実感を伴う実習の学び』、萌文書林、2010 年

安部恵・鈴木みゆき編著『教育・保育実習安心ガイド』、ひかりのくに、2015 年（33 版）

東山明・名賀三希子『教育・保育実習実技ガイド』、ひかりのくに、2015（12 版）

西村・山口・枅岡監修『絆づくりの遊び百貨—伝承遊びから現代風遊びまでの 205 種』、昭和堂、2012 年

幼少年教育研究所編著『新版 遊びの指導』、同文書院、2009 年

厚生労働省『保育所保育指針解説書』、フレーベル 2008 年

石橋裕子・林幸範編『新訂 知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』、同文書院、2015 年

新 保育士養成講座編集委員会編『新保育士養成講座 第 9 巻 保育実習』、全国社会福祉協議会、2015 年

内閣府・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館、2014 年

立花直樹・波田埜英治編『新・はじめて学ぶ社会福祉 2 児童家庭福祉論』、ミネルヴァ書房、2015 年

井村圭壯・相澤譲治編『保育実践と社会的養護』、勁草書房、2016 年

愛知県保育実習連絡協議会「福祉施設実習」編集委員会『新保育士養成カリキュラム 保育士をめざす人の福祉施設実習 第 2 版』、みらい、2013 年

